

令和 5 年 筑前町議会文教厚生常任委員会会議録	
招集年月日	令和 5 年 9 月 7 日 (木)
招集の場所	筑前町役場議員控室
開 会	令和 5 年 9 月 7 日 (木) 11 時 23 分
閉 会	令和 5 年 9 月 7 日 (木) 11 時 45 分
出席委員	<p>委員長 山 本 一 洋          副委員長 河 内 直 子  委員 池 松 和 彦          委員 石 橋 里 美  委員 奥 村 忠 義          委員 山 本 久 矢  委員 寺 原 裕 明</p>
欠席委員	なし
会議事件説明のため出席した者の職氏名	<p>請願第2号  紹介議員 石 丸 時次郎  教育課長 宮 崎 宣 匡  請 願 者 福岡県教職員組合朝倉支部  支 部 長 富 安 ひとみ</p>
欠席者	なし
職務のため出席した者の職氏名	<p>議会事務局長                  議会事務局次長兼議会係長  山 本            孝                                  坂 田 康 仁</p>
付託事件	<p>請願第2号 「「少人数学級推進などの教職員定数改善」「義務教育費  国庫負担制度負担率の引き上げ」を求める意見書」の提出を  求める請願書</p>

# 会 議 録

文教厚生常任委員会

令和5年9月7日（木）


開 会	
委員 長	<p>本日の出席委員は7名につき、定足数に達しておりますので、ただいまから、文教厚生常任委員会を開会いたします。</p> <p style="text-align: right;">( 1 1 : 2 3 )</p>
委員 長	<p>これより、本委員会に付託されました、請願第2号「「少人数学級推進などの教職員定数改善」「義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げ」に係る意見書の提出を求める請願書」を議題とし、審査を行います。</p> <p>まず、本日の出席者をご紹介します。</p> <p>請願者の福岡県教職員組合朝倉支部より支部長、富安ひとみ様。</p>
富安支部長	<p>よろしく申し上げます。</p>
委員 長	<p>それから紹介議員の石丸時次郎議員、それから担当部局として教育課長がお見えになっています。</p> <p>忙しい中、ご参集いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>次に、請願趣旨について、請願者の説明を求めます。</p> <p>支部長、どうぞ申し上げます。</p>
富安支部長	<p>福教組朝倉支部で支部長をしています富安です。本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>筑前町議会におかれましては、これまで幾度となくこの請願を採択していただき、ありがとうございます。今年もこういう機会を与えてくださり、感謝申し上げます。</p> <p>さて、請願事項は次の2点です。</p> <p>1、中学校、高等学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる少人数学級について検討するとともに、加配教員の増員など教職員定数改善を推進すること。</p> <p>2、教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、地方財政を確保した上で、義務教育費国庫負担制度の負担割合を引き上げること。</p> <p>以上です。</p> <p>請願の趣旨を説明いたします。</p> <p>まず、請願事項1点目についてです。</p> <p>学校現場では、貧困、いじめ、不登校、教職員の長時間労働や未配置など解決すべき課題が山積しており、子どもたちの豊かな学びを保障するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっています。21年の法改正により、小学校の学級編制標準は段階的に35人に引き下げられることになり、4年生までは35人学級が実現できました。しかし、現在、小学校5年生以上は今までどおり40人学級で過ごすこととなります。例えば、中牟田小学校の例を挙げると、5年生は現在38人、38人の2クラスです。きめ細やかな指導をと思いつつも、現実にはそうはできていないというのが現状です。</p> <p>また、小学校以上に気がかりなことが中学校での不登校問題です。現在、どの中学校も不登校生徒の多さに心を痛めています。教室の席がいつも3、4人は空いている。多いクラスだとそれ以上です。朝倉市郡内の中学校では、不登校の生徒、学校には来ているが教室に入れない生徒が合わせて平均で約1割程度います。</p> <p>学力保障と言いつつ、多くの子が学びの場から遠ざかろうとしている現実があります。不登校の問題は人数が少なれば解決するのかと言われれば、そんなに単純な問題ではないとは思いますが、1クラスの人数が減ることで、子ども一人ひとりに丁寧に向き合うことができることは確かだと思います。</p> <p>そのような意味でも、今後は小学校にとどまることなく、中学校、高校での35人学級の早期実施、加えて、きめ細かい教育活動を進めるためには、さらなる学級編制</p>

	<p>標準の引き下げ、少人数学級の実現が必要と考えます。</p> <p>次に、教職員定数改善推進について述べます。</p> <p>学校現場での今一番の問題は何といても教員不足です。2022年1月に文科省が公表した実態調査では、全国の小中学校で合わせて約2,000人の教員が足りない厳しい実態が浮き彫りになりました。筑前町では、多くの方のご尽力により、4月時点での定数欠は一部を除き免れることができました。しかし、年度途中の補充はかなり厳しいものがあり、産休、育休取得予定者の代替教員がなかなか決まらない、病休者が出て代わりはおらず、現有の職員がその空いた分を補っていかねばならないという現状です。そのしわ寄せは子どもたちに行きます。子どもたちの豊かな学びや学校の働き方改革を実現するためにも、加配教員や少数職種の配置を増やすなど教職員定数改善が不可欠です。</p> <p>次に、請願事項2点目について説明します。</p> <p>筑前町では、他地区に比べても教育に多くの予算をかけてもらっていることに本当に感謝申し上げます。本町のように厳しい財政状況の中、独自財源により人的措置を行っている自治体もありますが、そうできない自治体も少なくはありません。私は学校では特別支援学級担任をしています、各自治体によって配置される支援学級支援員の人数が大きく違うのを感じます。</p> <p>このように自治体間で教育格差が生じることは大きな問題です。子どもたちが全国どこに住んでいても一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請です。義務教育費国庫負担制度については、小泉政権下の三位一体改革の中で、国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられました。国の施策として定数改善に向けた財源保障をし、地方財政を確保した上で、義務教育費国庫負担制度の負担割合を引き上げることがを要請いたします。</p> <p>将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は重要です。社会づくりやまちづくり、未来を担う人材と社会の主体性を育てるためには、子どもや若者の学びを支援していく必要があります。</p> <p>こうした観点から、政府予算編成において、上記事項が実現されるよう、意見書提出をお願いいたします。</p> <p>請願の趣旨をご理解の上、意見書の採択をお願いいたします。</p> <p>以上です。</p>
委員長	<p>以上で請願者からの説明が終わりました。</p> <p>次に、紹介議員の説明を求めます。</p>
石丸議員	<p>特別、説明というのは今なされたのでありませんが、この趣旨等を鑑みれば、言われましたように、ぜひ採択をお願いしたいと思います。</p> <p>よろしく申し上げます。</p>
委員長	<p>ほかに補足説明がありましたらお願いをいたします。</p> <p>(なし)</p>
委員長	<p>なければ、以上で関係者からの説明が終わりました。</p> <p>これから、請願第2号に対する質疑に入ります。</p> <p>請願者、紹介議員、担当部局に対し、質疑がありましたらお願いをいたします。</p> <p>奥村委員</p>
奥村委員	<p>毎年ですね、もう私が議員になって8年過ぎました。9年目ですけど、もう最初からずっと出されてる問題なのです。全然改善というか、35人に小中学校がされるのはわかりますけれども、それ以外は全く改善されていない。だから、こういうやり方じゃなくて、ほかに手だてはないのかとかですね、何か別の方法は、あと今、教職員組合とか自治労とかもちよっと言うたら悪いけども、昔みたいに盛んに活動もでき</p>

	ない状態というか、何かやっているけど厳しいものがあるので、そこら辺厳しくなったのは分かるのですが、何かもう全く毎年同じものなのでしょう。だから、逆にこういう、こっちのほうに請願書を提出されるのもいいかなと思うんですけど、ほかに何かまだやり方というのがあればですね、いいかなと思うんですけど。
委員長	じゃあ、どうぞ。
石丸議員	<p>今、奥村議員のほうから指摘されたようにですね、その一面はあろうかと思います。ほかの方法というのでも考えていかないといかんと思いますけども、私は逆に同じことをずっとやっばり言い続けるということも大事やないかなという思いを持っています。</p> <p>ましてや財源に関わること、非常に自治体においても財源の厳しい中での財源に関わることで、簡単には行かないと思いますけれども、やはり、学校教育現場の実態、今ずっと説明されましたけども、そういうことを繰り返しやっばり続けていくことも大事じゃないかと思っていますので、奥村委員の指摘は指摘としてですね、今後考えて、ほかの方法もあるのかなのか、そういうことの検討もですね、ぜひやっていただきたいと。</p> <p>ありがとうございます。</p>
委員長	はい、どうぞ。
奥村委員	請願書を提出するなら、それはそれでいいですよ。いいけども、これはこれでまた別に何かやり方があればですね、そっちのほうも検討していただきたいと、そういう思いで言ってるんです。
富安支部長	はい。
石丸議員	はい。ありがとうございます。
委員長	はい、どうぞ。
寺原委員	<p>関連ですけど、今提案理由を聞いててですね、もちろんいじめとか不登校とかねというのがあったと思うので、貧困という言葉がね、ここ何年かやっばり入ってきてると思うんですよ。本当にやっばり暮らしが厳しい子どもたちが増えてきてる現状で、そういう中でやっばり教育をきちっと守っていかないとということでの請願だろうと思うんですよ。</p> <p>奥村委員が言われる、私も同じような気持ちなんですけど、結局国がどんな予算配分をするかと、防衛費には金を回すけどね、教育費は全く変わらん。前は2分の1やったのが今3分の1って、それがもうずっと元に戻らんまま毎年毎年来てるわけですよ。そういうことになってるから、今の物価高の生活を、困ってる人たちに対してもっと助けるようなことを、お金はやっばりそこに使っていかなければいけんの、そうしないというような国の方針がやっばり、少しでも考えてくださいというための請願だろうと思うので、非常に私は意味があるというふうに思ってます。</p> <p>一方で、例えば教育委員会として、これは、今、教職員組合からの請願なので、教育委員会とかそういう行政側として、同じような動きを教育面のことなので、国に対してやっばりしていくべきということ、教育委員会としてはどういうふうな、スタンスとしては応援しますというふうなことであるんでしょうけども、やっばり独自に何なりかの動きをしてほしいなというふうな気持ちがあるんですよ。そのことで何かあればですね、ちょっとお願いしたいなと思います。</p>
教育課長	この請願の趣旨等を拝見させていただいて、全く課題がうちの課題と同じだと思います。貧困とかいじめ、不登校、そういったものに対する手当て、そういったものができてるのかというようなところというのはやっばり一定程度は進めていけますけども、さすがに財源とかそういったもののあたりで、やっばりできるところとできないところというのがあってということで、やはり国のほうからの手当てというかそ

	<p>ったものがやっぱり必要になってくるかなというふうに思っています。</p> <p>教育新聞ってうちにいろいろ来てるんですけど、国の今の動きとしては、学校支援員とかそういったものですね、学校の先生の負担軽減とかそういったものの中で、学校の動きを軽減していくといったところの範囲で、国のほうも一部動いてるようなところは見受けられますので、そういったものも含めて、うちの教育委員会としてはこの課題をやっぱりどうにかしたいという思いは十分ありますから、これも請願の部分も含めて、うちのほうからも同じ思いとして、そういう意見が出せるような場面があればですね、出していききたいとは思っています。</p>
寺原委員	<p>地方もね、努力しているからね。やっぱりそこは切り取ってもらわないかんとですよね。</p>
教育課長	<p>そうですね。現状が本当に分かっているのかなというところが、本当に思いますね、国のほうは。いろんな会議の中で議題に上がってるようですので、そういったところを含めてですね、国のほうの動きもちよっと見ていきたいなと思ってます。</p>
寺原委員	<p>よろしくお願いします。</p>
委員長	<p>ほかによろしいでしょうか。</p>
河内委員	<p>教職員組合のほうから毎年毎年こういう請願が出されたからこそ、小学校の35人学級が実現したんだと思うんですよね。だから、やっぱり請願は毎年継続して出していただきたいなと思っています。</p>
石丸議員	<p>はい、ありがとうございます。</p>
富安支部長	<p>ありがとうございます。</p>
委員長	<p>池松委員</p>
池松委員	<p>町の中での件になると思うんですけど、教員が足りないっていうような状態が常にあるとは思んですけど、現在、教員免許は持っているけども、教育現場には立ってなくて一般で働いてる方も多くいらっしゃると思うので、ちょっと難しいとは思んですけど、教員免許保持者というようなことで町の中で把握すれば、今は多分ほとんど先生が人づてに誰かいないかなっていうようなことで話が進むことが多いと思うので、町のほうでも教員免許を持っている方を把握するような、そうすればもうちょっと声がかかりやすいのかなということも思うのですが、それはどこでどうやるかっていうのはちょっと分からないんですけど。</p>
教育課長	<p>いや、私もそれを把握できれば。手当たり次第当たっていききたいなとは。</p>
池松委員	<p>そうですね。広報誌で、教えてくださいというぐらいしか考えられないですけど、持っている方は登録しませんかみたいな。既に教育委員会とかではあると思んですけど。もう何十年も多分使っていないけどもっていうパターンがいるのかなと。</p>
委員長	<p>どうぞ。</p>
富安支部長	<p>今、本当に教員不足っていうのが悩ましいところなんですけれども、何とかして現場としても職員を集めたいというのがあります。それで、本当に学校長が御自ら職員に「誰か知ってる人いませんか」というのを公の場で言うようなところなんです。普通は校長が声かけたりというのはしないんですけども、そういう状況。</p> <p>もう一つは、再任用、定年退職で辞めた方たちにも、もう一度声をかけてっていうところがあるんですけども、今、良くも悪くも教員に対するネガティブキャンペーンといいますか、そういうのが知れ渡ってますので、なかなかそれをして、現場に戻りましょうという人がなかなかいないっていうのが実態かなというふうに思います。</p> <p>そういう意味では教育委員会のほうもしっかり頑張ってくださいですね、今年4月は穴が空かないように、担任の欠がないようになっていうところで、本当に頑張ってくださいたんだなっていうのを思っているところです。何とか教職員が増えるといい</p>

	などと思いますけど。あと、受験者ですね、教員採用の試験の倍率も年々低下しているような実態なので、そこを何とかしなければというふうに思っています。
委員長	どうぞ。
石橋委員	先生たちの仕事の量がやっぱり負担が大きいっていうので、精神的に休職される先生たちもいらっしゃる現実、やっぱり年々増えてると思うんですけども、そういう先生たちが休んでいらっしゃるって、現場に出てこられる復帰率っていうのはこの朝倉郡近郊では大体どのぐらい、何%ぐらいあるのかなっていうのがちょっと知りたいんですけども、分かりますか。
委員長	はい、どうぞ。
富安支部長	きちんとしたデータは取ってないんですけども、感覚としては、一定お休みされたらやっぱり戻ってこられるっていう方はかなりいらっしゃるかなというふうには思います。ただ、夏休みを機にやっぱり退職しますとか、育休を機にやっぱり現場は無理ですということで辞められる方も一定数います。
石橋委員	そのパーセンテージが上がってきたら、また教職員、そういう先生たちの数も少しはいいのかなって思いますけどね。結局は働き方改革になってくるとは思うんですけど。
委員長	よろしいですか。 質疑はほかにありますか。 (質疑なし)
委員長	これで質疑を終わります。 以上で請願者からの説明並びに質疑が終わりました。 請願者、紹介議員、教育課長の皆様、これで退席していただいて結構です。 どうもありがとうございました。 (富安支部長、紹介議員、教育課長退室)
委員長	それでは、請願に対していろいろな質疑が出ましたけれども、これより討論をしていきたいと思えます。 まず、請願第2号に反対者の反対討論ありますでしょうか。 (討論なし)
委員長	なければ、次に賛成者の賛成討論ありますか。 (討論なし)
委員長	討論がないようですので、討論を終結いたします。 これより、請願第2号「「少人数学級推進などの教職員定数改善」「義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げ」に係る意見書の提出を求める請願書」を採決いたします。 請願第2号は採択することに賛成の方、挙手をお願いいたします。 (賛成者挙手)
委員長	挙手全員です。 したがって、請願第2号「「少人数学級推進などの教職員定数改善」「義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げ」に係る意見書の提出を求める請願書」は採択と決しました。 お諮りします。 ただいま採択しました請願第2号は、お手元にお配りした請願書記載のとおり、意見書を関係行政庁へ提出したいと思えます。 これにご異議ありませんか。 (異議なし)
委員長	異議なしと認めます。 したがって、意見書を提出者、委員長名にて発議いたします。

	<p>なお、本委員会の審査結果報告書等の案文につきましては、委員長にご一任いただきたいと思いますが、ご異議ありませんか。</p> <p>(異議なし)</p>
委員長	ご異議ありませんので、そのように決定いたします。
散会	
委員長	<p>それでは、これで本委員会に付託されました請願の審査を終了いたします。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">(11:45)</p>
	<p>上記会議の経過を記載し、その相違ないことを証するために署名する。</p> <p style="text-align: center;">文教厚生常任委員長</p> <p style="text-align: right;"></p>